

薬剤師求人 | 求人探索ルート選択・応募候補チェックシート

求人を探す前に「どの経路を使うか」を決め、見つけた求人を同じ基準で確認するためのシートです。どれか1つの方法を正解とするのではなく、今の自分に必要な機能を選びます。

希望勤務地：	希望雇用形態：	希望入社時期：
希望業態・職種：	最低限外せない勤務条件：	今回変えたいこと：

STEP 1 | 4つの求人探索ルートを比較する

比較項目	企業採用ページ	求人サイト	ハローワーク	転職エージェント
求人を探す人	自分	自分	自分＋相談可	自分＋担当者
公開求人の比較	会社ごと	しやすい	全国求人を検索可	紹介可能求人を提案される
応募手続	自分	サービスによる	紹介・自主応募等	担当者が支援する場合が多い
面接日程調整	自分	基本は自分	応募方法による	担当者へ依頼できる場合が多い
求人企業への追加確認	自分で質問	自分で確認することが中心	相談・紹介を通じ確認できる場合あり	担当者へ確認を依頼できる場合あり
向いている状況	応募先が明確	自分で広く検索したい	地域求人・公的支援も利用したい	求人提案・調整支援も使いたい

使い方： 最初から1つに決めなくても構いません。たとえば求人サイトで広く探し、気になる企業を公式採用ページで照合し、求人提案や企業への追加確認が必要になった段階で転職エージェントを追加する方法もあります。

STEP 2 | まず自分に必要な「機能」を決める

自分で進めやすいこと ☐ 企業・求人を自分で検索できる ☐ 応募先がある程度決まっている ☐ 日程調整を自分で行える ☐ 求人企業へ自分で質問できる ☐ 求人比較を自分で管理できる	第三者の支援があると助かること ☐ 複数の求人候補を提案してほしい ☐ 面接日程の調整負担を減らしたい ☐ 求人票にない点を企業へ確認してほしい ☐ 給与・勤務条件の確認も手伝ってほしい ☐ 自分の条件に合う求人を一緒に絞りたい
---	---

右側に複数該当する場合は、転職エージェントを「求人探索を代わりにしてもらうサービス」ではなく、「求人提案・確認・調整を補う手段」として比較する価値があります。

STEP 3 | 今の状況から探索ルートを選ぶ

A | 応募したい会社が決まっている

まず公式採用ページで現在の募集を確認。

☐ 募集職種

☐ 雇用形態

☐ 勤務地・配属

☐ 仕事内容

☐ 勤務時間・休日

☐ 給与・手当

☐ 応募資格

☐ 応募方法

B | 近隣求人を広く比較したい

求人サイト等で、最初は外せない条件から検索。

☐ 勤務地

☐ 雇用形態

☐ 業態

☐ 勤務時間

☐ 給与帯

細かい条件を最初から増やしすぎない。

C | 地域求人・公的相談も使いたい

ハローワークの求人検索と職業相談を分けて利用。

☐ 求人検索を使う

☐ 職業相談も使う

☐ 紹介を受けたい

☐ オンライン自主応募も確認する

D | 求人提案・確認・調整も頼みたい

転職エージェントを追加する意味が出やすい状態。

☐ 複数求人を提案してほしい

☐ 日程調整を手伝ってほしい

☐ 企業への追加確認を頼みたい

☐ 条件確認を第三者にも手伝ってほしい

自分の探索プラン

役割	使う経路	何を確認するか	次に見直す日
主な入口			
公式情報の照合			
地域求人の補完			
提案・調整支援			

STEP 4 | 見つけた求人を10項目で確認する

どの経路で求人を見つけても、応募候補に残す前に同じ10項目を確認します。「分からない」は悪条件ではなく、**未確認**として残してください。

確認項目	求人A	求人B	求人C
1. 現在も募集しているか			
2. 募集している店舗・部署はどこか			
3. 実際の仕事内容は何か			
4. 必須資格・必須経験を満たしているか			
5. 勤務時間・休憩・休日はどうなっているか			
6. 給与・手当・固定残業代等の内訳を確認できるか			
7. 勤務地・業務の変更範囲はどうなっているか			
8. 有期契約なら期間・更新条件はどうなっているか			
9. 求人情報の確認日・更新日はいつか			
10. 不明点を誰に確認するか決めたか			

応募候補として残す前の整理

求人A

企業・店舗：

見つけた経路：

未確認事項：

求人B

企業・店舗：

見つけた経路：

未確認事項：

求人C

企業・店舗：

見つけた経路：

未確認事項：

応募前の判断： 求人ページだけで10項目すべてが分かる必要はありません。企業採用窓口、面接、ハローワーク、利用中の転職エージェントなど、現在の応募経路に応じて不明点を確認します。

STEP 5 | 転職エージェントを使う意味があるか確認する

以下は記事内の「転職エージェントを使う意味が出やすい場面」です。該当したから必ず登録するという意味ではありません。自分だけで進めるより、求人探索や確認の負担を減らせるかを判断します。

確認したいこと	必要	不要	メモ
複数の求人候補を提案してほしい	☐	☐	
在職中で面接日程の調整負担を減らしたい	☐	☐	
求人票だけでは分からない項目を求人企業へ追加確認してほしい	☐	☐	
給与・勤務条件等の確認・相談を第三者にも手伝ってほしい	☐	☐	
派遣など職業紹介・派遣会社を通じた働き方を検討している	☐	☐	

自力探索で不足していること	第三者に依頼できると助かること
--	--

利用するなら2社程度を同じ条件で比較する

比較項目	確認すること	エージェントA	エージェントB
求人の範囲	希望地域・業態・雇用形態で紹介できる求人		
推薦理由	自分の条件に合うと考えた理由を説明できるか		
職場情報	情報源・確認時期・対象店舗を説明できるか		
確認力	人員・シフト・配属・異動等を求人企業へ確認できるか		
進め方	本人の確認前に応募せず、判断時間を確保できるか		
連絡	希望する連絡方法・頻度・日程調整に対応できるか		

次の行動： 求人提案・企業への追加確認・日程調整などに支援が必要だと分かった場合は、元記事へ戻り、転職エージェント比較の案内から候補を確認してください。PDF内には広告を入れず、比較基準だけ残しています。

STEP 6 | 求人・応募経路の重複を防ぐ管理表

複数経路を使う場合は、同じ会社・店舗への重複応募を避けるため、見つけた場所と応募経路を記録します。

企業・店舗	見つけた場所	応募経路	確認日	応募日	状況

最後に | 今の自分に合う探索方法を決める

このまま自分で探す

☐ 応募したい会社が明確

☐ 求人比較を自分で進められる

☐ 企業への確認・日程調整も自分で行える

次にすること：

転職エージェントも比較する

☐ 求人候補を増やしたい

☐ 企業への追加確認を頼みたい

☐ 日程調整・条件確認の負担を減らしたい

次にすること：

判断の基準：登録数を増やすことが目的ではありません。自分だけでは見つけにくい求人や確認しにくい条件を補い、応募先を判断する材料を増やすことが目的です。

メモ